



研究テーマ

1 食品成分の体内動態解析

2 医薬品-食品相互作用の評価



西川 美宇

にしかわ みゆう
農学部

農学部門応用生命化学領域

准教授

キーワード

- ・食品
- ・医薬品
- ・ビタミン
- ・体内動態
- ・ヒト予測

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

食品や医薬品など、生体機能調節作用や薬理作用のある化合物が、体内でどのような挙動を示しどの組織に到達するのかを精密に追跡することで、有効性や安全性のエビデンスを構築しています。

近年はiPS細胞を活用することで、試験管内でヒトの体内現象を予測する技術の開発にも従事しています。

1 食品成分の体内動態解析

摂取した食品成分の標的臓器への到達などを評価することで、健康作用の科学的エビデンスを構築します。細胞モデル、動物等を使用した試験が可能です。食品素材の吸収効率向上などに活用いただけます。

2 医薬品-食品相互作用の評価

いわゆる「服薬時の食べ合わせ」について、薬物代謝酵素阻害の観点から、機能性食品成分の安全性や併用リスクを評価します。食経験を逸脱する機能性食品開発時に重要な評価指標です。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

食品中に含まれる栄養・機能性成分の測定、機能性食品成分の安全性、ビタミン(特にビタミンD)の健康作用、食品や医薬品に対する動物とヒトの応答性の違い

メッセージ